

MBC SHIMRIN METALLIC BASES

一般情報

MBC SHIMRIN Metallic ベースは当社のベースコートの中でもメタリックが一番大きな製品で、すばらしい光の反射性と明るさを作り出します。3種類のユニークな色により Kandy のベースコートとしてすばらしいフィニッシュが得られます。ベースコートとして使う場合、MBC-01 は明るい反射を發揮し、MBC-03 は Kandy の色を濃くします。MBC-02 はミディアムカラーで Kandy をちょっと濃い目にする製品です。どの製品も光を当てるとずば抜けた反射性を持っています。MBC の上から最終クリアコートをすることも可能です。またアクリルラッカーかウレタンエナメルのどちらのシステムでも上から塗装することが可能です。ただし一度システムが決まったら、そのシステムだけをお使いください。

1. 準備

塗装を始める前に Tech Prep をよくお読みください。SHIMRIN ベースはプラスチックフィラー、パテ、ファイバーグラス樹脂、プライマー等によるしみやにじみが出やすい製品です。このような問題を起こさないためにボディーまで削り落とし（または OEM プライマーまで落とす）、KP-2CF エポキシプライマーか KP-21 エポキシプライマーで下地を作ってください。KP プライマーについては Tech Sheet を参照願います。

2. グラウンドコート

- ・ Sealer (KO-SEAL II)
- ・ SHIMRIN ベース (BC-25、BC-26、SG)

MBC は KO-SEAL もしくはカラーベースコートの上からしか塗装できません。

MBC は絶対にプライマーの上に直接塗装しないでください。

色の薄いメタリックもしくは Kandy カラーには KS-10、KS-210、BC-26 (白) といった薄い色のグラウンドコートを塗装し、色の濃いメタリックもしくは Kandy カラーには KS-11、KS-211、BC-25 (黒) といった色の濃いグラウンドコートを塗装します。この他、SHIMRIN ベースコートであればどれもグラウンドコートとして使えます。グラウンドコートの色は最終的なフィニッシュの色に大きく影響してきます。

注：シーラーは不十分な下地による変色やにじみを防ぐ物ではありません。シーラーの主な目的はトップコートの喰いつきを良くし、対象物を単色にするための物です。

3. SHIMRIN ベース (MBC) の希釈方法

まず SHIMRIN ベースをよくかき混ぜてください。塗料が 2 に対し、リデュースが 1 の比率で希釈してください。ペイントブースの温度によって適切なリデュースを選択しますが、当社製品以外のリデュースは絶対に使わないでください。リデュースについては Tech Sheet を参照願います。

タッチアップで色を馴染ませる場合、SHIMRIN ベースを少々希釈するか、SG-100 を追加すればよいでしょう。

注：他社のリデュースを使用したり、作業場の環境には合わないリデュースのために乾燥時間が長すぎたりしますと、塗装面がひび割れるといった問題の原因となります。また乾燥時間を十分に与えなかったり、ウェットに塗りすぎたりしますと同じような問題が発生しますので、ご注意ください。



MBC SHIMRIN METALLIC BASES

4. SHIMRIN ベース (MBC) の塗装

ストレーナーを通して塗料をガンに入れてください。空気圧はガンで 50 ~ 60psi、HVL P ではノズルで 10psi に設定してください。ガンは約 6 インチ程離して 50%の重複パターンで 3 ~ 4 回コーティングします。大きな部分は歩いて全体がカバーできるようにしてください。ミディアムコートが最適です。また乾燥時間にご注意ください。

SHIMRIN 乾燥確認テスト-全ての SHIMRIN ベースは乾燥すると光沢が無く、触ってみて乾いていたら、次のコーティングを始めてください。

最後の MBC コーティング終了後、SG-100 を 2 ~ 3 コート塗装してください。30 分から 1 時間ほど乾燥させ、スカフパッドか目の細かいサンドペーパーで立っているフレークを寝かせてください。その上、Kandy もしくはクリアコートをかぶせてください。

注: MBC ベースはウェットで塗装しないでください。MBC はラッカーとよく似ていますため、ミディアムコートで 50%の重複パターンを守ってください。

注: SHIMRIN MBC ベースコートを 3 回塗っても約 1/2 ~ 3/4 Mil 程の厚みのため、エッジが最低限で抑えられます。(テープを取ってもエッジがきれいに残る)。

5. アートワークとインターコートクリア (オプション)

SHIMRIN ベースはアートワークでのご利用にも最適です。ただしこの SHIMRIN ベースには直接テープを貼らないでください。

アートワークが決まりましたら、SG-100 インターコートクリアを 1 ~ 2 回、ミディアムコートで塗ってください (ウレタンエナメルトップコートの場合。アクリルラッカーの場合は C-1 Kustom Clear をご利用ください)。このクリアコートによって SHIMRIN ベースをテーピング等から保護します。のりをよくするため、500 番でウェットペーパーがけをお勧めします。

SG-100 インターコートクリアについては Tech Sheet を参照願います。

注: SHIMRIN メタリックベースを直接ペーパーがけしないでください。もしペーパーがけが必要な場合は、SG-100 を塗った上で行ってください。もし SHIMRIN メタリックを直接ペーパーがけしてしまった場合は再度ベースを塗りなおす必要があります。

注: SG-100 はアートワークからベースコートを守ることと、色を馴染ませる際に使うことのために開発されています。

この製品に耐候性はなく 4 回以上の重ね塗りはできないため、厚塗りしたり最終クリアとしてはお使いになれません。

注意: SHIMRIN ベースコートは最終のクリアコートをかぶせるまで、耐ケミカル性はありませぬ。洗浄剤等を直接使用するとベースが落ちてしまいますのでご注意ください。SHIMRIN ベースコートの洗浄には KC-20 Post Sanding Cleaner をお使いください。

6. Kandy コート (オプション)

SHIMRIN MBC ベースの上から Kandy を塗装することも可能です (アクリルラッカーかウレタンエナメルどちらでも)。アクリルラッカーで Kandy をのせた場合、アクリルラッカーのクリアを使うことを忘れないようにご注意ください。

Kandy については Tech Sheet をご参照願います。

7. クリアコート

全ての SHIMRIN MBC ベースはクリアコートをしなければいけません (ウレタンエナメルかアクリルラッカー)。どちらのシステムか決めれば、ベースコート以後の工程は全て同じシステムにて一貫してお使いください。

その他の情報

SHIMRIN MBC ベースは他の色と混ぜることにより、無限大の色を作り上げることができます。Designer Pearl、Neons、Graphic Kolors といった SHIMRIN 系の塗料ならばどれも混ぜることが可能です。

また SHIMRIN Pearl と Metallic ベースを少量 (25%まで) Cosmic Kolor Kandy に追加することによりタッチアップをやりやすくしたり、新たな色を作り上げることができます。リデューサーと硬化剤の比率は通常のまま希釈して下さい。

